

## 令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

### <県北会場>

#### 科目 ⑨こどもの遊びの理解と支援

- ◆ 子どもの遊びの中にたくさんの学びのきっかけがある。発達段階に応じて主体的な遊びを行うことが大切であり、また自発的な遊びは心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学びであることを知った。遊びを通して他者と関わることで、個性に気づき相手を理解していくことを学んだ。子どもと一緒に遊んだり、共感したり、見守ったりして、遊びを通して成長していけるように援助していきたい。
- ◆ 遊びは心がなごやかになることであり、たくさんの学びのきっかけがあるため、子どもが主体的に遊ぶことが大切である。自発的な遊びを応援し、一緒に楽しむことで子どもの理解につながることを理解できた。また、核家族化や少子化など子どもを取り巻く環境の変化によってコミュニケーション能力の低下につながっていて、今後の学力向上には、自分で説明できる能動的な語彙力を豊かにすることが大事であることを学んだ。
- ◆ 大人も子どももほめる、認めることで自信をもつことができるのだと分かりました。自分が不安になったときに相談できる人がいると安心感に繋がり、そこから遊びへ繋がり、何かあったときは「戻る場所がある」と伝えていくことが大切だと知りました。子どもの日常の様子を保護者に伝え、安心して子育てと仕事を両立できるようにサポートしていくことが必要であり、連絡帳でのやり取りで必要な支援を続けていくことができるようにしたい。
- ◆ 放課後児童クラブで大事なことは、遊びだと改めて学ぶことができました。また、遊びの大切さについて、遊びの中でも学びを得るということを理解できました。現場で子どもたちの遊びを見守ったり一緒に遊んだりする中で、子ども同士で遊びを展開させたり、教えたり教わったりしている子どもたちを尊敬の心をもって見ています。子どもたちが遊びで悩んでいるときは支援員として提案する援助をしたいと思います。
- ◆ 子どもの遊びにはたくさんの学びのきっかけがあり、自ら主体的にやりたい遊びができるよう見守っていくことが大切である。子どもは遊びの中で他者と関わりながら成功したり失敗したりを繰り返し学んでいく。子どもの言葉をしっかりと聞いて子どもと関わって遊ぶことで、子どもの面白さを発見できるなど、遊びの大切さを改めて認識することができた。今後、子どもを見る目を養いながら、あたたかな眼差しをもって子どもと接していきたい。